



# 学校だより

<家庭数> 第3号  
令和2年6月1日発行  
品川区立第四日野小学校  
校長 島崎 一江  
<http://school.cts.ne.jp/hino4/>

## I'm Still Standing (私はまだ立っている)

校長 島崎 一江

6月を目前に、真夏を思わせる太陽の輝きを感じるかと思えば、梅雨寒で上着が必要な日もある不安定な日が続いています。体調を崩さないように気を付けたいものです。本来ですと『もうすぐ運動会、みんな元気に頑張りましょう。』と子どもたちに声をかけているこの頃のはずですが、静かな校庭を見ると寂しい思いでいっぱいです。緊急事態宣言が解除され、ホッとしたいところがホッとできず、いろいろな影響を及ぼしているコロナウィルスが恨めしい毎日ですが、少しずつ子どもたちの顔が見られるようになりました。学校がただの箱ではなくなりつつあることが一筋の光です。校庭開放や登校日に会えた子どもたちの笑顔に救われます。保護者の皆様のご不安も重々承知しております。子どもたちの笑顔のため、学校ではできるかぎりの感染予防に努め安全第一で授業を行っています。温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

先日（5月26日）の東京新聞のニュースでニュージーランドの首都オークランドの首相アーダン氏が示した『ゴー・ハード・アンド・ゴー・アーリー（厳しく、早く）』のコロナ対応が評価された記事が載っていました。アーダン首相は、一つの世帯を『バブル』(泡)に例え、バブルがはじけて感染が広がらないように自宅待機を求め、繰り返し『ビー・ストロング。ビー・カインド（強く、やさしく。）』と呼びかけたそうです。胸に響きました。そうです。『強く、やさしく』は四日野っ子の目指す姿です。私は『強く、やさしく』の中に『レジリエンス（立ち直る力）』を盛り込んでいます。今、まさに『強くあれ、やさしくあれ、そして、立ち直る力を発揮せよ』と大きな声で叫びたいものです。コロナのせいで傷つけられている人がいること、傷つける人がいることがショックです。苦しんでいる人がたくさんいます。その中で、苦しんでいる人のために、アーティストのレディー・ガガさんらが世界中に配信した音楽イベントで、エルトン・ジョンさんの『アイム スティル スタンディング（私はまだ立っている）』がたくさんの人に勇気を与えたそうです。苦境に打ちのめされても、ぎりぎりのところでまだ立っている。倒れそうになっても、いや、たとえ倒れてしまってもあきらめない。どんなにつらいことがあっても、私たちは必ず立ち上がることができるのだ。と。 私たちも、力を合わせて一歩ずつ前へ進んでいきましょう。